



# 議会だより



## 写真／成人式

森町在住のベトナム人技能実習生 12 人が民族衣装の「アオザイ」をまとい、成人式に参加されました。  
指のポーズはハートを意味しています。

## 《主な内容》

12月定例会	2～3	ページ
一般質問	4～6	

太田町政の自己評価と今後について ほか

先進地視察	7
-------	---

長野県阿智村、下條村への行政視察

# 12月定例会

## 一般会計補正予算 9387万円減額

### 公共下水道事業特別会計補正予算 2354万円減額

森町議会は、12月定例会を3日から20日までの会期18日間で開催しました。補正予算、条例改正など、提案された12議案を審議し、すべて可決しました。

一般質問は「太田町政の自己評価と今後について」など6人が質問しました。

(4～6ページに掲載)

### 補正予算

一般会計補正予算(第5号)	
減額	9387万7千円
総額	80億1491万8千円

#### 工場誘致対策費

補助金の交付を予定していた企業の操業開始の遅延に伴い、年度内の補助金交付の見込みがなくなったため減額する

(△1億3468万8千円)

#### 中学校統合に向けての経費

・森中学校の駐輪場の増改築工事、ロッカー、靴箱等の修繕、学校備品の運搬設置、書類保管庫の購入をする

(943万6千円)

・統合により森中学校へ通学することとなる生徒の通学カバンやトレーニングウェア等を町で用意する

(132万円)

・森中学校の給食用食器の購入費と、泉陽中学校給食調理場で使用していた調理器具を、老朽化が著しい調理器具と換えて使用するための運搬設置手数料

(102万円)

#### 農地事業費

三倉黒田地区の農業用取水路の擁壁下部が、河川の流水により洗堀が進んでいるため、修繕する

(130万円)

#### 保健体育総務費

東京2020オリンピック・パラリンピックの気運上昇、PRに加え、パラリンピックの正式種目である「ボッチャ」の普及を図るため、懸垂幕や横断幕、のぼり旗の製作とボッチャ競技用具の購入をする

(86万円)



購入したボッチャ競技用具



競技風景  
パラサポ WEB より

障がいの有無に関わらず、老若男女、誰でも楽しむことができるスポーツとして注目されています。

#### 道路新設改良費

三倉地内の県道袋井春野線道路整備事業の増額を受け、県単事業に係る町の負担金を増額する

(275万円)

### 公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

減額	2354万3千円
総額	5億5437万3千円

#### 下水道整備事業

本年度実施の污水管渠築造工事が、当初より安価で実施できる見込みとなり、工事請負費4800万円を減額する

次年度以降に実施を予定していた天宮地区の実施設計委託料等2400万円を計上する

### 条例

森町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について **ほか3条例**

民間給与との較差等に基づき、給料手当等を見直す令和元年年人事院勧告を受け、議員、特別職、教育長、一般職員の前末手当等の支給月数を引き上げる

森町水道事業給水条例の一部を改正する条例について

「水道法の一部を改正する法律」により、指定給水装置工事事業者の指定有効期間が5年ごとの更新制が導入され、条例において指定給水装置工事事業者の指定更新に係る手数料を定める

## 12月定例会の採決結果一覧 (○=賛成 ×=反対)

議案名	山本 俊康	西田 彰	鈴木 托治	中根 幸男	吉筋 恵治	岡野 豊	中根 信一郎	加藤 久幸	岡戸 章夫	結果
森町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	×	×	○	○	○	○	×	○	可決
森町特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部を改正する条例	○	×	×	○	○	○	○	×	○	可決
森町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例	○	×	×	○	○	○	○	×	○	可決
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
森町表彰条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
森町下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
森町水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度森町一般会計補正予算(第5号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度森町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度森町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度森町病院事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
土地及び建物取得(旧周智高校跡地等)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長(亀澤進)は採決には加わりません。

### 討論

- ・森町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- ・森町特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部を改正する条例
- ・森町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例

### 反対

民間企業の給与は上がっている  
 ようだが、大企業や富裕層への  
 減税や税制優遇、人口減少による労働  
 力確保のため給与の引き上げをせざる  
 を得ないという実態も浮かぶ。非正規  
 労働者の増加や年間所得200万円未  
 満の相対的貧困世帯がじりじりと増え  
 る中、人事院勧告と言えども、一時金  
 を議員、特別職、教育長について引き  
 上げるのは理解に苦しむ。

(西田彰)

### 賛成

今回の期末手当の支給月数の改  
 正は令和元年度人事院勧告を受  
 け、0.05月分を引き上げるもので  
 あり、金額にすると一般議員一人当た  
 り年11673円増となる。森町の議  
 員報酬は他町と比較しても低位であり、  
 期末手当の若干の引き上げは町民の理  
 解も得られると思う。特別職、教育長  
 についても同様である。

(岡野豊)



山本 俊康

### 引き続き町政運営を担う考えはあるか



**山本** 町長の任期が令和2年3月9日とせまっているが、太田町政1期4年を振り返り、どう自己評価するか伺う。

**町長** 3つのマニフェストを掲げ当選させていただき、政策の実現に向け全力で取り組んできた。

①「人口減少に立ち向かう」では、結婚・出産・子育ての充実に、切れ目のない総合的な支援を実施した。

②「財源を確保する」では、産業振興による税収アップ、内陸フロンティア推進事業の推進、「森町産業立地事業費補助金」を交付し優良企業を誘致した。また、ふるさと納税への積極的な取り組みでは、平成30年度は1億円を超える寄附をいただいた。

③「人にやさしい町をつくる」では、生活支援体制整備事業への取り組み、森町病院への経営支援、森町全域の文化財の計画的保護、保存、活用を図る「森町歴史伝統文化保存会」を設立した。

教育の充実として、幼小中学校の

全ての教室にエアコン整備、A・L・Tの増員による英語教育の推進、防災・減災対策では、ハザードマップと防災ガイドブックの全戸配布、避難所等への公衆無線LANを整備した。

以上、マニフェストの実現に向け、誠心誠意取り組み町民、議員、職員、さらに全国の森町ファンの皆さまのご理解・ご協力をいただいて、一定の成果を得ることができたのではないかと考えている。

**山本** 引き続き町政運営を担う考えはあるか。

**町長** 3つのマニフェストの取り組みは、まだゴールがみえていない。

次の任期には、夢のある大胆な政策を、力強くアクトセルを踏みながら、「愛する森町」のために、全力で町政運営を担っていききたい。

## 町政を問う ～一般質問～



岡戸 章夫

### 廃校跡地活用にプロジェクト立ち上げを



**岡戸** 泉陽中学校・三倉小学校・天方小学校が統合に伴い廃校予定だが、利活用の検討委員会の考えや計画を伺う。

**町長** さまざまな方向から検討する必要があり、3校同時に検討していききたい。検討を開始する時期は、令和2年6月頃を予定している。地域から幅広く意見要望を伺う機会を設け、そのあとに検討委員会を立ち上げて進めていきたい。跡地利活用が地域の活性化に寄与し新たな拠点となるよう進めたい。

**岡戸** 夢のあるネーミングや、プレスリリース等の情報発信も大切と考えるがどうか。

**企画財政課長** 検討委員会のネーミングは、全国の事例等を参考に、考えていきたい。広報等で町外や県外に向け、情報発信を検討していきたい。

**森町の情報発信のあり方について**

**岡戸** 第9次森町総合計画の柱に「活力と情報発信」がある。情報発信量は増えていると思うが課題も多い。検証がされているか。

**町長** ホームページは月平均11700件のアクセス数があるが、データの活用まではされていない。台風19号接近の10月11日は2550件、上陸時の12日は5286件であった。今後も、防災情報については、定められた基準や手順に基づき、適切な情報提供に努めていきたい。

その他、森女HAPPYプロジェクトではインスタグラムによる情報発信を始めている。投稿内容と閲覧数の分析を行い、投稿に反映させたり、フォロワー数増加に努めている。



泉陽中学校 校舎



岡野 豊

### 認知症等行方不明者 早期発見対策について



**岡野** 2018年度中に認知症かその疑いが原因で行方不明になり、警察に届け出があった方は全国で16927人で、静岡県は220人であった。居場所を早期に特定できる確かな方法として、GPS機能を利用し常に身に着けられる機器の開発が必要と考えるがどうか。

**町長** 森町の見守り対策として、「森町地域見守りネットワーク」事業を、新聞販売店等14事業所と協定を結び、見守りを行っている。現在の見守り体制の強化として、森町ちやっこメール活用を考えている。

GPS徘徊感知器は、必ず身に付けていなければ効果はなく、発見できる確かな方法ではない。安価で早期発見が可能となる、商品の開発を業者に依頼している。

### 高齢者等詐欺被害防止対策について

**岡野** 高齢者を狙った悪質商法や詐欺により、多くの高齢者が現金を騙し取られる被害が相次いで起

きている。平成28年度に試行した、悪質電話防止装置設置者の75%が電話が掛かって来ず、効果があったと答えている。その検証と設置状況について、また詐欺被害防止に対する町の取り組みと今後について伺う。

**町長** 家庭用の固定電話機能でも同程度の効果を発揮するものも多く、特殊詐欺や消費トラブルを未然に防ぐには、各個人の意識向上が一番重要と考える。高齢者を含む町民の自己防衛意識の高揚を図っていく。

### 【その他の質問事項】 セアカゴケグモ被害防止対策について



セアカゴケグモ  
(写真：静岡市HPより)

森町パーキングエリア内で発見されています。もし見かけた場合は  
住民生活課 (85-6314) に連絡を!

## 町政を問う ～一般質問～



西田 彰

### 豪雨災害では現在の 指定避難所は適切か



**西田** 町の指定避難所は大地震災害を想定したものと認識するがどうか。

**町長** 現在指定避難所は14施設あるが、一部に洪水、土砂災害、大規模火災に適合していない施設がある。

**西田** 指定避難所は豪雨災害に対して問題はないか。豪雨には高台に設置された避難所が必要ではないか。

**町長** 太田川は平成29年に洪水予報定区域が設定された。町の避難所の中には、太田川の浸水想定区域内にあるが、2階以上に避難すれば浸水から逃げられるとしている施設もある。県において、12月議会にて、従来の指定河川の支流についても洪水浸水想定区域の設定を行うと発表しており、従来適合とされていた避難所も今後いくつかは使用できなくなり、高台にある避難所への集約が必要になることも想定される。

**西田** 風力発電等施設計画・導入の在り方について  
風力発電を巡っては各地で問題となっている。ガイドラインが必要ではないか。

**町長** 規模が大きく環境影響が著しい事業については、県のガイドラインが策定されており、町独自のガイドラインは必要ないと思える。

**西田** 防災へのリスク、サシバ等渡り鳥の経路の阻害、鳥獣保護区等をどのように考えるか。

**町長** 町長意見として道路工事、森林伐採、開発及び防災に関する意見を県に提出したが、渡り鳥に関しては記載を落としている。現時点では詳細内容は事業者が検討し、今後「方法書」「準備書」「評価書」等を作成するので、環境保全や開発、防災、動植物等十分な配慮を求めている。

### 【その他の質問事項】 介護保険制度の運用について



中根 幸 男

# 令和2年度当初予算と 職員の意識改革は



**中根** 令和2年度当初予算の規模と  
主要な事業計画について伺う。

**町長** 令和2年度当初予算は、現段  
階ではまだ政策的な予算は言  
えないが、規模は消費税率引き上げ  
等に伴う制度的要因に加え、光ファ  
イバ未整備地域への対策や公債費の  
増加等により令和元年度を上回るの  
ではないかと思込んでいます。

なお、新田赤松線は、歴代の町長  
が様々な手法を用いて進めてきた事  
業であり、全線が開通してこそ整備  
効果が出るものと考えています。今後、  
国の交付金等補助制度を検討・研究  
しながら事業を推進していきたい。

**各課の政策目標を定めた課長マニ  
フェストの作成について**

**中根** 静岡県小山町では、各部の基  
本方針、重点的施策などを明  
らかにするため、部長マニフェスト  
を作成している。森町では課の政策  
目標等は、どのようになっているか  
伺う。

**町長** 町では平成28年度に導入した  
人事評価制度の中で、組織目  
標という名称で、各課長が当年度の  
課の目標を設定しており、これが課  
長マニフェストとしての位置づけに  
近いものとなっている。

**中根** 長野県下條村では、職員の意  
識改革のため、ホームセン  
ターへ研修派遣し、民間企業の厳し  
さを体感し、大きな成果が出ている。  
町では、職員の意識改革等、職員研  
修をどのように考えているか伺う。

**町長** 職員研修については「県・市  
町・民間企業管理者交流講座」  
等の受講や(株)アクティ森への派遣  
等により、専門知識、経営感覚、政  
策立案などの能力開発を図っている。

今後多様な職場外研修の受講機  
会を設け、職員の能力・資質の一層  
の向上を図る研修を企画・実施し、  
人材の育成に努めていきたい。

## 町政を問う ～ 一般質問 ～

【その他の一般質問】  
鈴木 托治

「町長選の出馬について」「役場への民間力の導入を」  
「子供達のスマホ使用の検討を」について質問しました。



### 認定こども園化を 再度要望

#### 第一常任委員会

令和元年12月20日、再度、要望書と  
して町長に提出しました。

要望書全文

『森町議会では、若い世代、子育て  
世代の皆さまからのご意見、ご要望を  
いただき、平成30年6月12日付で幼稚  
園、保育園に関する提言書を町当局に  
提出いたしました。』

令和元年10月1日から幼・保無償化  
が実施され、より保育園利用者が増え  
ることが予測されるなか、教育・保育  
子育て支援の観点からだけでなく、少  
子化対策や町の活性化の面からも認定  
こども園への移行は重要な施策である  
と考えます。

つきましては、今後に対応するため  
「幼稚園型認定こども園」の設置を早  
期に検討し、実施することを要望しま  
す。』

### 小・中学校統合に係る 意見書を提出

#### 森町議会

1月15日、小学校及び中学校の統  
合に際して、

- ①「児童の履修漏れ及び未履修の解  
消に努めること。」
- ②「統合前後の児童・生徒の精神的  
不安解消のためのケアの充実に努め  
ること。」

これらについて十二分に配慮する  
よう、森町議会から町当局へ意見書  
を提出しました。



町長に意見書を提出

# 所管事務調査報告

第一・第二常任委員会合同で、11月21、22日、長野県阿智村と下條村へ調査研究に伺いました。

## 調査事項

第一常任委員会「子育て支援及び巡回バスと乗り合いタクシー制度について」

第二常任委員会「観光誘客事業と民間企業との協力体制及び定住に向けた推進策の状況について」

## 阿智村

人口約6400人。年間観光客数は約130万人で、春は花桃、夏は昼神温泉に泊まり「日本一の星空」を見るナイトツアー、冬はスキーなど、年間を通じて観光客が訪れる仕組みとなっています。「阿智家族」というコンセプトを基に、定住促進施策に取り組んでいます。

### 第一常任委員会

子育て・教育では子育て世代包括支援センターとして「あちここプラザ」があり、里帰り出産支援から養育全般、健康、教育、進路相談まで切れ目のない支援体制が組みられています。

巡回バス4路線では、朝夕はスクールバスと兼用し、一般利用者は帰宅時に乗り合いタクシーで自宅まで送迎してもらえ、事業が図られています。

### 第二常任委員会

観光誘客事業は、役場内の観光協会を、第三セクターと組織統合し「阿智☆昼神観光局」として立ち上げ、特にマスメディアや観光バス会社などへのPRに力を入れています。

定住に向けた推進策は、若者定

住支援金として41歳未満を対象に、住宅新築時上限100万円、村内事業者と契約した場合は120万円が補助され、さらに増改築に50万円、住宅用地取得に100万円、中古住宅取得に100万円が補助されています。また41歳以上51歳未満には集落定住支援金という補助金が設けられていました。高齢化率40%以上の地域へ定住する場合は年齢制限なく補助されており、他にもお試し住宅といった取組をして、定住推進を図っています。

### 第一常任委員会

出産祝い金は第1子・2子は8万円、第3子以降は50万円。小学校入学祝い金は3万円、中学校は6万円。3歳以上の保育料無料(平成30年度より)、他には「多子世帯育児支援」として3歳以下の第3子以上に月5千円の商品券支給、「義務教育給食費の70%補助」などが子育て支援事業となっています。

### 第二常任委員会

定住に向けた推進策は、住宅施策と少子化対策を併せ持つ「若者定住促進住宅」の建設。入居条件は子育て世帯、消防団への加入、地域に溶け込む意思のある人、家賃31000円から34000円で、2LDK、駐車場2台付ということ、若者や子どもが増え、人口増や維持に繋がっています。

今後一戸建て(持ち家)を建ててもらおうと、新增改築工事補助事業として45歳以下を対象に新築の場合、上限100万円、増改築の場合、上限50万円で増築費の10%補助、その他住宅用地取得、宅地造成工事に対する補助なども整備されています。

## 下條村



ナイトツアーパンフレット  
(天の楽園日本一の星空ツアー)より

人口約3800人。人口減少に早くから危機意識を持ち、財政健全化に向け、村民と職員の意識改革(村民施工による舗装工事、職員を民間企業に派遣)に取り組み、子育て支援の充実で出生率全国トップを成し遂げています。

## 視察を終えて

今回の視察を通して、危機意識の共有(行政と町民)、事業の取り組みのPR、どんな事業でも町民への理解浸透に努力すること、成果を次につなげること、国の言いなりにならないことが重要だと感じました。

(第一常任委員長 西田彰)

今回の視察を通して、新增改築工事補助事業や、大都市福祉施設の誘致などは、当町にも活用できる事例だと思いました。

また、行政が自らの地域を良く知り、地域に合った独自の施策が必要だと感じました。

(第二常任委員長 中根信一郎)



若者定住促進住宅の案内(長野県下條村移住・定住サイト)より

# みんなのこえ

## 森町体育協会

ゴルフ連盟の歴史は古く、当初ゴルフ愛好家の人たちがゴルフクラブとして発足させたのが40年前になります。

クラブから連盟に変わるときっかけは静岡国体でした。体協に加盟し団体の運営協議の進行に少しでも協力できればと思います会員が結束しました。

## ゴルフ連盟

今では皆さんの協力の下ゴルフ大会を年3回(3月・7月・11月)9月にはチャリティーコンペを開催しております。

チャリティーコンペは森町にあるフォレストCCと三木の里CC、葛城CCと交代で行い、その際には各ゴルフ場から多大なご支援をいただいております。そして毎年春には静岡県都市対抗ゴルフ大会が行われ、6名の選手の方が参加しております。

当連盟は参加自由です。希望者の方は事務局まで連絡してください。

### 連絡先

会長 大場 孝伺(一宮)  
事務局電話(正光建設内)  
0538-85-3118



チャリティーゴルフ大会にて  
会長(右)と副会長

もりまち議会だより 第82号  
令和2年(2020年)2月15日発行

発行 静岡県森町議会  
編集 議会だより編集委員会

## 議会を聴きに来ませんか

12月議会では、のべ18人の方が、議会へ足を運んでくださいました。

予約は必要ありません。手続きも簡単です。

議場は役場3階です。

是非、お越しく下さい。

- 定員28名
- お問い合わせ先……議会事務局  
電話 0538-85-6329

## 森町折々の写真を募集中

議会だよりや議会ホームページで使用する写真やイラストを募集しています。

詳細は、議会ホームページをご覧ください。議会事務局までお尋ねください。

応募・問い合わせ先

森町議会事務局

〒437-0293 森町森2101の1

0538-85-6329

morimachi.gikai@gmail.com



森町議会HP  
写真募集について

## 3月定例会の予定

3月2日(月)	本会議	初日(提案説明)
3月4日(水)	本会議	2日目(質疑)
3月6日(金)	常任委員会	委員
3月9日(月)	常任委員会	委員
3月10日(火)	常任委員会	委員
3月23日(月)	本会議	3日目(一般質問)
3月24日(火)	本会議	最終日(討論・採決)

※会議の開始時間は午前9時30分です。

※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

## 出前議会報告を実施します

町民の皆さまに、議会をより身近に感じていただけるよう、議会報告に伺います。

開催希望の団体(町内会、各種団体など)は、議会事務局までご連絡ください。

## ひとこと

令和となり、初めての新年を迎えました。本年の干支は庚子で、新たな芽吹きを意味するようです。

そのような中、2月の補欠選挙で森町議会も新議員を迎え、新たにスタートをします。

昨年の流行語大賞「ワン・チーム」のように、森町議会一丸となり、また議会だよりにおいても、気持ち新たに務めていきたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願ひします。

(事務局S)

## 議会だより編集委員会

委員長	中根 幸男
委員長	岡野 幸豊
委員長	鈴木 托治
委員長	加藤 久幸
委員長	岡戸 幸夫
委員長	岡戸 幸夫

〒437-0293 静岡県沼津市森町2101-1  
TEL 0538-85-6329 FAX 0538-85-6044  
https://www.morimachi.gikai.com/  
E-mail: morimachi.gikai@gmail.com